（第三種郵便物認可）
（大正八年三月七日）

七日
日刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十五
編輯兼發行人　岡田弘氏
福島縣石城郡平町紺屋町十五
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ケ月金卅錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

醜類の壓迫に 珍品問題激化

町會不信の聲昂まり 全町の輿論硬化す

四倉町會に眞相調査要求の進言書提出により俄然表面化した前四倉築港所長金澤技師をとりまく珍品三百圓問題はその後極度に狼狽した同町民政派の巨頭町議某々等は事件の揉み消しに必死の狂奔を續けてゐる。即ち進言書提出の責任者たる武藤豊氏が四倉根本署長の參考取調に對し確証ありと斷言したと傳へられたが事件發端の原因は所長更迭發表後新任關根所長、前所長金澤技師兩氏の歡送迎會が開かれた際金澤前所長を迎えに行つた同町菅波助役に對し金澤所長夫人が

「所長の椅子は我々が必らず擁護してやる……」と○○氏が言ひましたので運動費として三百圓出しましたがその甲斐なくとう〳〵轉任させられました……。

と同助役に搔口說いた旨當時菅波助役の口から漏れたものである。然るに同助役は最近に至り「そんな事は聞かなかつたし言つた覺えもない」とその態度を一變するに至つたが、此れは民政派某巨頭等のもみ消し策動が奏効した結果であるとし武藤、戸田氏等進言書提出責任者は勿論全町民の輿論は極度に硬化し町會が眞相調査を開始しないのは何等かの事情に依り故意に躊躇してゐるものであるとして遂には町會の不信をさへ叫ぶものも現はれ事情次第に險惡化しつゝある。

△小名濱小學校　備品その他新校舍の手入れ。

△永戸小學校　過般の村會に於いて小玉校長から村會に提案通過した高等女子補習學校を新學年から開校する。

△箕輪校　青年訓練所に備付ける爲め銃器十五挺を購入する。

△渡戸小學校　同青年訓練所の附屬備品購入。

△合戸小學校　學校備品の充實を計る。

△永戸小學校　資金二百三十圓を以つて銃器十二挺の設備を爲す。

△豊間小學校　奉祝を永遠に記念する爲めに校歌を作る。目下作詩家の選定中。

△內郷村內各小學校ではピアノ一臺宛を購入する外第二校では職員の旅行會を組織毎月俸給額の二分を貯立てゝ旅行費とする。　以上

神谷村の 面白い試み

神谷村農會では今七日午後三時から同村小學校庭に於いて農事指導員の繩造り競技會を開催したが、參加者は縣立神谷農試分場員、小學校教職員、村吏員等約五十名で盛會、西山農會長審査の上で入賞者を表彰した。

巣立つ若人

今日磐中第三十四回卒業式

縣立磐城中學校の第三十四回卒業式は今七日午前十時から同校講堂に於いて畑山知事代理を迎えて擧式、小檜山校長の擧式の辭に次いで國歌君が代奉唱、教育勅語奉讀、證書授與式あり小檜山校長の訓示、畑山知事の告辭代理朗讀、關內同窓會長の祝辭、山崎君在校生徒を代表送辭を述べれば、一位卒業の高萩實君卒業生を總代して答辭、四家久米治氏保護者代表として謝辭を述ぶ、木村前代議士、青沼平町長の祝辭朗讀等あり同正午閉式したが、同校今年度卒業生は赤津眞、○秋山清、會川清四郎、會川寅次郎、阿部貞治、○阿部文平、五十嵐定典、○生田叶、石坂光雄、石濱照雄、石井俊男、市井三郎、○木幡隆、小林一充、小林德雄、小松圭吾、小松秀正、小井戸雅司、後藤俊雄、齋藤弘太郎、齋藤正夫、榊原富夫、佐川正佐川道明、坂本貞一、伊藤正之、◎猪狩常彦、內藏敏二、植頃正、江幡政雄、○海老名武夫、海老根忠雄、遠藤文也、綱田文男、大河原樂、大澤辰雄、太田進、坂本正勝、○酒寄勝之進、酒井武、酒井正夫作山友三、○佐々木俊孝、佐藤勝義、佐藤孝志、佐藤三郎佐藤親、佐藤文雄、佐藤文夫佐藤文男、大津賀忠吉、大平敬二郎、大平浩、大和田高明岡田明、岡田茂、小川亨、○岡部龍信、萩野秀雄、小田悅也、小野勝三、小野龜太郎、佐藤眞琴、○佐藤良知、○里見鐵之助、◎澤聰、鮫島弘道志賀功、志賀恒之、志賀正夫志賀守、○志賀幸雄、志賀義雄、四家仁良、四家康義、◎○樫村一男、數馬欣一、片岡孝次、上遠野勝、金川孝平、○金澤利男、金成金一郎、○金成久、金成榮時、金成令宣川隅英範、菊地兵衛、鹽森博清水忠秋、庄司省吾、○白石正英、白井晃、白井嶋郎、菅原富夫、杉浦敬三、杉山伸雄助川悟、鈴木五平、◎○鈴木繁好、鈴木忠、木村健二、○木村貞雄、◎桐谷義男、草野敏、草野伸衛、○草野寅光、草野正已、鯨岡稔雄、熊井幸雄、小西信正、○小嶋桂三、○鈴木忠仁、鈴木達雄、鈴木敏勝、鈴木文夫、○鈴木英賢○鈴木勝、鈴木正雄、○鈴木正雄、○鈴木正夫、○鈴木美芳、□關內三郎、園部孝長、高木正、高木壽一郎、○鷹崎敏彌、○高田孝、高野萬龜、高萩慶、高萩正已、◎□○高萩實、高萩嘉夫、○田崎二郎田中謙一、○田中敏之、田邊保孔、谷崎勝人、圓義房、水口竹雄、水野良雄、皆川貞雄虫本正三、武藤兼、森川忠吾諸橋一郎、山形阜、山崎忠、山崎勤、○湯澤幸雄、横山將人、吉川三郎、津田亮一、土田賴英、粒來義人、○坪內敏郎、利根川輝男、飛塚誠一、富澤幸雄、富田俊雄、富田久光、○鳥居次男、中島英一、中島重雄、◎中津秀幸、吉田清秋、○吉田武司、吉田丈夫吉田眞吉、○吉田信、吉田益二、○四ッ倉達也、若松巖、和田弘尙、渡邊殼、渡邊三良渡邊敏男、渡邊登、中島壽毅中村徹、中村正夫、中山信雄長久保誠、永山泰三、○永山弘、二宮裕、新妻立雄、新妻皓司、新妻吉典、額賀任、根本三郎、野木源一郎、野崎與右衞門、野村政之、芳賀他郷、芳賀吉之亟、箱崎義人、橋本久長谷川敏夫、林武義、比佐三郎、飛田正幸、飛田芳男、平澤健造、平澤幸一、蛭田禮三○廣澤榮太郎、廣瀨功、古川作馬、堀川正一、堀越一男、眞木林平、松原弘、○松本弘三浦辰男

△優良會員　歩兵上等兵鈴木友光、仲間町）同三浦文雄（田町）歩兵一等兵松本與三郎（長橋町）砲兵一等兵石黑久雄（南町）

植田管內 消防大會

植田警察署管內二町八ヶ村聯合消防幹部大會は來二十一日午前十時から植田町菊田座に於いて開會する。

郡內各小學校の 奉祝記念事業

任意にそれ〴〵計畫進む

郡內各小學校では皇太子殿下御誕生奉祝の記念事業に就いて去二日校長會を開催協議の結果各校の任意に依つて記念事業を計畫する事を申合せ成づたが、既に決定した各校の記念事業は次の如くである。

△渡邊小學校　基本金募集の爲めに同村地內の植林を增殖し更らに兒童後援會を組織す

利用されたい……と 仙臺の郷友會館から

幹旋依頼

仙臺市に在る磐城郷友會會館は本郡出身の軍人、學生生徒等に利用されて多大の寄與を爲してゐたが最近同會館の利用者が次第に減じて來たので同會館理事磐中出身の仙臺市技師神原章光氏は今七日平町宛に同會館の利用幹旋方を依頼して來た。即ち同館現在の規定によると

△下宿料一等二十五圓、二等二十四圓、三等二十三圓但し本郡出身者に限り二割引

△宿泊　受驗その他の關係で本郡出身者が一泊するときは三食付八十錢。　以上

平在軍分會 總會開催

會員表彰

平在郷軍人分會では三月十日陸軍記念日當日鹿島、玉川兩村で兎を匪賊になぞらへて討伐し獲物を携へ玉川村小瀧鑛泉に至り總會を開く事になつたが、席上で左の模範組並に會員を表彰する。

△模範組　新川町組

納稅申告督勵 平稅務署熱心

平稅務署では目下納稅者千百名に對し本月十五日を期限として申告督勵中であるが第三種所得金額並に乙種資本利子金額及び個人營業金額の納入如何は來る十月執行される本郡所得稅調査員の選擧權の得喪にも關係すると。

● 自信ある製品 ●
ランドセル
惣皮製80錢より
4円50錢まで
新學期の洋品は　中野洋品店　平 二35

生徒募集

◇非常時日本と婦人の職業
近代の日本は婦人にも經濟の獨立を呼かけて參りました
婦人の職業として産婆看護婦といふ業は最も似つかはしい天職で有ります。

◇卒業年限僅か一ヶ年
開業すれば收益も多大で家政の内助ともなり、家庭の人となつても直接役に立つのは此の産婆看護婦の業で有ります。

◇戰時と日本婦人としての覺悟
一旦緩急あれば戰時看護婦として愛する母國への奉仕に務めませう。

◇古い傳統の歴史と縣下第一の好成績を誇る平町一丁目の石城産科婦看護婦學校へ御入學下さい。

石城産科婦看護婦學校
電話三五七番
校長　鷹崎千代

時代の要求　三月十一日マデ（夜間十時迄）
東京和洋家具百貨大陳列大安賣會
十ヶ月拂
四倉町
四倉座内

タクシーの御用命は
皆様の昭和へ!!!
『迅速、安全、親切』弊タクシーのモットーであります
倍舊の御愛顧と御聲援願ひます。
平田町
昭和タクシー
電話三四三（サシミ）六五九番

耳鼻咽喉科專門
鈴木醫院
醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）
藤田女學校前
入院のお需めに應ず
自炊の便あり

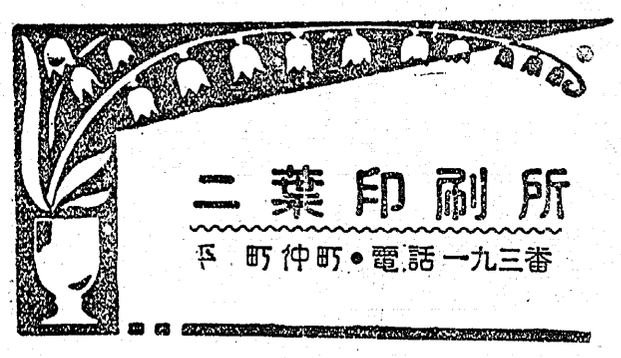
急性・慢性を問はず
淋疾は立派に全治す
（一）淋疾尿道炎、（二）消渴、（三）膀胱カタルには驚く可き効目がある
高級治淋新藥　トリプチン
特約店　大平屋藥店
電話六四二番
一二三圓圓圓

夜診
胃腸
内科
胃腸病科
病性
花柳病科
性病科
泌尿器病科
皮膚科
肛門病科
專門
松村胃腸性病科醫院
（平町南町　電一〇七番）
療間

萬洗張、湯のし、シミヌキ
忠
篠原洗張店
平町田町大通

吸入用酸素!!
純度99%

度量衡
モノサシ
マス
ハカリ
體温器
寒暖計
秤ノ取緒・錘糸・修覆致シマス
寫眞材料一式
關内藥局
電話四〇番



鼻の藥「チクノール」
山野邊藥局

三月九日　一日限り　延日對絶しな
日本一浪界の女王!!!
巴うの子
天下一品の余興數番
▽讀手男女十名出演
於　聚樂館

いよ〳〵御待かねの
三寶保育園開園
△入學申込期日　三月三十一日マデ
△新入學期開始ハ　四月二日ヨリ
△學齡ハ　滿三歳以上
△毎日午前八時ヨリ午後三時迄（但シ土曜日ハ午後一時迄）
△課目　（一）遊戯　（二）唱歌　（三）談話　（四）觀察　（五）手技　其他
△月謝　一ヶ月金一圓（但シ一家二人以上入園ノ時一人以外ハ七十錢ノコト）
△入園料　一人ニ付金五十錢ヲ添ヘテ申込下サイ
△申込場所　四倉本町三寶保育園又ハ大浦村最勝院
四倉町
三寶保育園

外科
一般外科　内臓外科
性病科　X光線科
入院隨意（自炊の便あり）
元赤心堂病院
安齊外科醫院
電話四七五

ゼブラ自轉車
宮田自轉車　代理店
エビスヤ自轉車店
電話六六四番

◇三百年の歴史を有する
家傳靈藥
相馬ハンサキ消食散
一名かんの藥
代理店　平町大町　丸龜商店
電話一三三番